

令和7年度第7回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）

開催日時 令和8年2月19日（木曜日）午後6時30分～午後8時30分

開催場所 砂川学習館

出席者 [委員] 倉持 伸江 会長 檜崎 茂彌 副会長 大槌 正則 委員
柴 香里 委員 梅田 茂之 委員 竹内 英子 委員
難波 敦子 委員 宮本 直樹 委員 来住野 清子 委員
岩元 喜代子 委員 杉浦 早苗 委員

[事務局] 立川市生涯学習推進センター長 鈴木 峰宏
同 管理係長 加藤 暁子
同 砂川学習館長 大野 孝之
同 管理係員 中山 琴音（記）

傍聴 0名

- 次第
1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 報告事項
(1) 砂川学習館建替え工事後の見学について
 4. 協議事項
(1) 令和7年度第6回立川市生涯学習推進審議会 会議録について
(2) 人材育成について
 5. その他
(1) 令和7年度生涯学習関係職員研修会について（出欠確認）
(2) 任期の満了と次期委員について
- 配布資料
1. 令和7年度第6回立川市生涯学習推進審議会 会議録（案）
 2. 令和7年度生涯学習関係職員研修会の開催について（通知）

会議内容

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 報告事項
(1) 砂川学習館建替え工事後の見学について
(会 長) 砂川学習館長より、館内の案内をしていただきます。よろしくお願いいたします。
(事務局・砂川学習館長) 2月16日にリニューアルオープンし、予約はまだあまり入っていませんが、今後増えていくと思われます。工期が伸びましたが、何とか今年度内に皆さまにお見せすることができ、嬉しく思っています。以前の建物と比較しますと面積は全体で20%減らしています。部屋数は5部屋で変わりませんが、

新たにコミュニティスペースが追加されました。学習館と子育て広場は変わらず残っています。皆さまにもご利用いただければと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

～ (館内見学) ～

- (会 長) 充実した施設になっているなと思いました。何か質問等ございますか。
- (副会長) 建替えにあたり、砂川闘争のコーナーをどうするか話し合いや説明会がありました。利用者側の声を活かすように努力をしてくれたのは、とても素晴らしいです。今後も建替えのときなどは利用者の意見をしっかり反映して行ってほしいと思います。
- (A委員) バイク置き場が少しわかりにくいです。
- (事務局・センター長) わかりにくくて、申し訳ございません。土地が狭隘ということもあり、なかなか場所を確保できません。車も6台しか止められません。いろいろな制約があり、申し訳ございません。
- (B委員) 部屋のドアが押し戸か引き戸か少しわかりにくいです。一度利用すればわかるかと思いますが、引き戸とわかるように矢印があると良いなと思いました。
- (A委員) 予約ボードが少し小さいと思いました。
- (事務局・管理係長) 予約状況についてはモニターに映す予定とのことです。
- (C委員) 講堂のステージが重たいようですが、使用する場合は利用者がセッティングするのでしょうか。
- (事務局・センター長) 現在、運用を検討しているところです。
- (会 長) 複合施設としてリニューアルオープンしたので、今後、複合を活かした機能や活動ができると良いですね。二階にある展示スペースは遊び心があり、子供から大人まで様々な世代の方が楽しめると思います。コミュニティスペースは、若者が勉強をしたり、自治会で使用したり、子育てひろばには、子育て世代がいらっしやるので、学びと地域づくりがうまく繋がっていくと複合施設の強みが活かせそうだなと思いました。
- (C委員) コミュニティスペースの使い方は、決まっているのですか。例えば、この日は保健師さんが来て健康相談してくれるなど、せっかくのスペースなので、地域づくりのような仕掛けがあると良いのではないかなと思いました。
- (事務局・センター長) コミュニティスペースは生涯学習推進センター所管ではないので、断定的な言い方はできませんが、コミュニティが形成されることを望んでいます。コンテンツ的に仕掛けていくというよりも皆さんに使っていただくスペースと考えております。お問い合わせや予約については、市民協働課にご連絡ください。学習館にはない、飲食ができるスペースなので、そのようなところを活用していただきたく思います。

- (D委員) 立川市砂川学習館施設案内リーフレットに「砂川学習館はひまわり子育てひろば、コミュニティ砂川との複合施設です。」と説明がありますが、ひまわり子育てひろばとコミュニティ砂川もまとめて砂川学習館ということでしょうか。
- (事務局・センター長) 建物の総称は「砂川学習館」ですが、三つの機能それぞれが個を持つというコンセプトもあります。入口の看板も三つの名前を書いています。それぞれの機能は個が立って対応していくという考え方を持っています。今後、コラボしていくこともあるかもしれませんが、今はこのようなコンセプトになっています。砂川学習館が建物の大家として維持管理などをやっていきますが、砂川学習館は学習館としての講座を展開していき、子育てひろばは、お子さんがコミュニケーションできる場所というコンセプトで、コミュニティ砂川は、スペースを有効に活用してもらいコミュニティの機能を高めてもらうというコンセプトがあります。それぞれが個を立ちながらも繋がっていけば良いなと思っています。
- (D委員) 西砂学習館だと学習館の中に図書館や子育て広場があり、学習館の中にこのような機能も含んでいますという考え方かと思いますが、砂川学習館も同じですか。
- (事務局・センター長) 図書館や子育てひろばの機能全てを学習館が押さえているというわけではありません。複合施設なので、建物の統括はありますが、コンセプトやコンテンツを凌駕するような形にはいかないのかなど。コラボしていくことは良いと思います。
- (会 長) 自治体や複合施設によっては、一つの事業主体が全ての機能を運営したり、建物に一つの名称を立てて、その中に複数の部署が入っていることもありますよね。今のご説明だと立川市の場合は、建物の名前もそれぞれで所管も異なるということですね。
- (C委員) コミュニティ砂川には、管理人はいらっしゃるのですか。
- (事務局・センター長) 基本的には、コミュニティ砂川には職員は常駐していません。
- (会 長) 新しい施設を有効に使うためにいろいろと確認できてよかったです。

4. 協議事項

(1) 令和7年度第6回立川市生涯学習推進審議会 会議録について

- (会 長) 事務局よりご説明をお願いします。
- (事務局・管理係員) 資料1です。事前にご確認をお願いしておりましたが、修正のご意見はありませんでした。本日追加のご意見がございましたらご承認いただけたということで、ホームページで公開させていただきます。
- (会 長) ありがとうございます。修正のご意見はありますか。(なし) それでは、承認とさせていただきます。

(2) 人材育成について

(会 長) 事務局よりご説明をお願いします。

(事務局・管理係長) 立川市第7次生涯学習推進計画の38ページから41ページを印刷して配布しています。「社会教育人材の育成とネットワーク」について記載している箇所です。前回、職員の専門的の力量形成についてお話ししたことを係長会などで揉んでもらっているところです。社会教育人材の育成とネットワークということで、施策の方向1、具体化の取り組み①、②については、前回市民リーダーの研修の話が出ていたかと思しますので、生涯学習係長に共有しております。何とかしようという気持ちはありますので、研修の実現に向け、動いてくれると思います。具体化の取組②の「地域学習館運営協議会による地域課題の把握」や「各種団体との交流による地域課題の把握」は地運協でやっていただいていたか、「世代間交流による地域文化の伝承」については、お祭りなどを通じて、世代間交流の場を設けようと頑張っていたかと思しますので、必要な支援をしていく部分かなと考えております。市民リーダーの研修以外で、こういうことが必要なのではないかとご意見等ありましたらお聞かせいただければと思います。

(会 長) ありがとうございます。前回職員の育成について主に意見交換をしましたので、できれば今日は地域人材や社会教育人材について、意見交換できればと思います。E委員に口火を切っていただければと思うのですが、市民リーダーに関連して、生涯学習ボランティアの登録・活用についての研修等々、何かご意見や課題があればと思いますがいかがでしょうか。

(E委員) 前回は申し上げた通り、市民リーダーの会は、登録するだけの会ではいけないと思っています。誰でも受け入れる体制は良いと思いますが、線引きは必要だと思います。事務局は、ただ受付をする場所というのは止めていただきたい。基本的な話し方をするとか、コミュニケーション力がないと受講者も増えないので、研修をしていただく必要があると思います。市が市民リーダーを育てる必要があると思うので、よく考えていただきたい。何も知らない人を表に出すことは、立川市の恥になると思うんです。なので、受け付けるだけが仕事であるというのは、間違いだと思っています。基本的なことを知らない人前で話すことはできないと思うんですね。人様に教えるのであれば、自分ができてないと意味がないので、基本的なことから研修を行っていただき、研修を受けないと市民リーダーとして名前を載せられないなど決まりを作るべきだと思います。

(会 長) 前にハラスメントやコンプライアンスについての研修は、コーディネーターさんにも必要なのではないかという話が出ていたかと思いますが、そういう意味では、市民リーダーに特化した研修もあると良いのかなと。また、地域のいろいろな担い手の方々が一緒に学ぶ場があるとそれが交流の場にもなり、なお良いのかなと思われました。他に市民リーダー以外でもご意見や課題があればお話し

いただければと思いますが、いかがでしょうか。

(A委員) どのような人が市民リーダーに相応しいか決めるのはすごく難しいですよね。例えば、市民リーダーとして活動したときに受講者が評価するとか。そのような形で、適合、不適合を判断すると。一定の枠に入れてしまうと、ハラスメントやLGBTなど時代ごとにどんどん変わってしてしまうので、評価制度的なものでやっていく形になるのかなと。例えば、学習館の行政企画講座や地域活性化講座には、アンケートがありますよね。アンケートで定量評価、定性評価をしているのだと思います。それと同じように簡単なアンケートで、受講者から最低限基本的なことだけを聞き、その結果によって、どういう研修が必要なのかみえてくるのかなと思いました。

(会 長) 生涯学習なので、意欲と関心に基づく仕組みだと思うんですよね。なので、評価という考え方を入れるのだとしたら、いいねがいっぱいいたり、講師として色んなところに呼ばれたら星が1個付くなどポジティブな方で、意欲を喚起させ、研修を受けてもっと良い講師になろうというような方向で循環すると良いなと思います。入口は広く持って、いろいろな人がそれがきっかけで、学ぶ側や学びを支援する側として、入ってこれると良いかなと。もちろんリスクは回避しなければいけないと思います。

(E委員) 市民リーダーの登録をした方には、他の人の展示や講座をみるようにしてもらっています。しっかりと研修をして、ベースを作っていたきたい。幹事会に参加された方にどうやって講座をするのかと尋ねたところ一度もやったことがありますと回答がありました。最低でも10人に教えられないと。1対1で教えているのは、講座とは言えないということが理解できていない、登録したら受講生がすぐ集まるものだと思っている方もいらっしゃいます。人との関り方から研修し、市民リーダーのレベルを上げていただきたい。対等な私が言うこと聞き入れてくれない方もいるので、しっかりと講師を呼んで研修をしていただきたいです。

(会 長) E委員が内部、外部にいろいろなコーディネートをしたことで、実際に市民講座を実現するところに辿り着いた方もたくさんいらっしゃると思いますが、同じ目線だからできることと、それだとなかなか動かないところもあるので、そこを行政が支援していくべきということですよ。

(E委員) しっかりと市民リーダーになるための研修をやっていただき、研修に参加した人のみが、市民リーダーとして活動できるようにしてもらいたいです。立川市は受付だけでなく、市民リーダーを育てなければいけないと思います。育てなければせっかくの制度の意味がないかと。

(会 長) 切実な願いですね。教えてあげたいから生涯学習に入ってこられる方もいらっしゃると思うので、そういう意味では裾野を広げるのも一つだと思います。地域

に関わりたい、教えたいからその人自身の生涯学習だったり、それがまた地域還元されていくということが、登録の時点で止まってしまったらもったいないと思います。登録したいと思った一歩からその人が思った通りではなかったとしても研修や交流の場、活動の機会があって、いろいろな人と知り合って、本人の学びにもなり、地域にも還元されていく。そこを作り出す支援をもう少ししていただけると良いのかなと。

(副会長) 第7次生涯学習推進計画の39ページに「市民リーダーの活動充実に向け、研修を実施します。」と書いてあるので、研修は実施すべきだと思います。研修ができない理由があるのでしょうか。

(事務局・管理係長) 生涯学習係長と研修ができるよう前向きに考えています。

(E委員) 以前も前向きに考えたいと言われましたが、研修が実施されたことはありません。

(事務局・センター長) 生涯学習推進計画に研修を実施しますと謳っているのですが、計画に基づいて対応していくべきだと考えています。ただ、具体的に来年度このタイミングでどうしますということはお示しはしてないと思いますので、そこは来年度に向けて考えていく必要があるかと。明確な回答ができず申し訳ございませんが、計画に書いてあるということは事実ですので、計画を踏まえて考えていかなければいけないと思っています。

(事務局・管理係長) 生涯学習係は、地域学校協働本部、社会教育関係団体の登録や更新の受付、事業後援などいろいろやってる中で、来年度は社会教育関係団体の登録の更新があるため、来年度ここまで必ずやりますと、なかなか言えないところではありますが、検討はしております。今日いただいたお話は、生涯学習係長にもお伝えします。

(D委員) 計画に研修を実施すると書いてあるので、是非実現してほしいと思います。

(会 長) 今日、要望と計画に書いてあることを確認し、かなり大事な課題なので早急に進めてくださいと私達の意見として出していて、それを事務局が受け止めますという話だったと思います。これで、進んでなかったら来年進んでないですがどうなってますかと進捗評価や審議会場で出していくことが大事だと思います。

(副会長) E委員が言ってることをまとめると、登録制度の活用と研修の実施が連動しないと意味がないということですね。登録した人に研修はしているが、自由参加なので、受けない人もいます。つまり、研修を受けないと登録できないようにしないと実質的には質の悪いことになってしまうため、ぜひ連動させて考えていただければと思います。

(会 長) 研修をやる、やらないだけでなく、仕組み自体を再検討してほしいということですよ。

(A委員) 生涯学習推進計画のような計画は、PDCAが一番大事だと思います。先ほど話のあったいいねの数など、成果を捉えるようなものがないとやったというだけで

評価して良いのかわからないかと。どう効果が出ているのか、その辺りを検討された方が良いと思います。

(E委員) まずはやらないと良い、悪いがわからない。やってもいないのに成果がどうという段階ではない。個人的にはやっているけれど、公ではないので、公の講座をやっていただいて、それが価値があるなしは、まずはやってみないとわからないと思います。来年の予算は決まってしまうと思うので、再来年はしっかりお金をかけて講師を呼んで、研修を行っていただきたいです。市民リーダーに登録したら何もしなくても講座を開けるという考えを払拭し、ちゃんとした人を作るべきだと思います。せっかくいろいろな経験をされてる人が手を挙げて市民リーダーをやりたいとおっしゃっているの、ちゃんと育てれば、市民が市民のために教えるというすごい循環ができると思うのです。そこを重視して、考えていただきたい。再来年は必ず研修を実施していただきたいです。

(会 長) 私が気になっているのは、計画に「まつり事業などを通してネットワークの構築」とか、「学習館のまつりなどに様々な世代から参加があり、交流の場として機能してる。」と書いてありますが、どうでしょう。私は錦学習館の地運協の委員をしていますが、まつりの参加者団体が年々少なくなってきていたり、関わる人が減ってきていたり、団体さんが高齢化してきたりと、本当に様々な世代の交流の場になっているかなど。先の10年を考えたときに少し心配な気もしています。立川に限らずどの地域でもよくでる悩みです。なので、今までのやり方で良いのかとか、本当にいろいろな世代の人の交流の場として機能しているかということについて、検討は必要なのではないでしょうか。あとは、地運協や市民交流大学の委員、地域の団体もそうだと思いますが、人があまり入れ替わってない組織も多いのではないかと思います。今までのことをわかっている人に頼むことで、継続的にできるというメリットもありますが、やはり仕組みができてから10年以上経って、ずっと同じ人がやっていると次の担い手がいなくなってしまう。地運協や市民交流大学の委員をやりながらそこに学習機能や人材育成機能があると思うので、かなり戦略的にお声掛けして人を入れたり、委員の構成を考えたりする必要があるのだと思うのですが、その辺もそろそろ手をつけないとどこの地運協も長くやってらっしゃる委員さんが多いと思うので、次の10年大丈夫かなど心配はしています。早速手をつけるべきなのではないのかなと思います。終わりの時間が近づいてきているので、他にご意見がありましたら、2月中に事務局に連絡していただければと思います。

5. その他

(1) 令和7年度生涯学習関係職員研修会について（出欠確認）

(会 長) 事務局よりご説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 資料2です。事前にメールを送らせていただいておりますが、3月19

日に砂川学習館の講堂で生涯学習関係職員研修会を開催します。出欠確認の締め切りは3月6日となっておりますが、本日まで参加できるかご回答いただける方がいらっしゃれば、教えていただければと思います。よろしく申し上げます。
(出欠確認)

(2) 任期の満了と次期委員について

(会 長) 事務局よりご説明をお願いします。

(事務局・管理係員) 生涯学習推進審議会12期の委員の任期は、令和8年3月31日までとなっております。本日が12期最後の審議会です。13期につきましては、2月24日までに関係団体の方々から推薦書等を提出していただくことになっていきます。その後、候補者を3月11日の教育委員会定例会に諮った上で、13期の委員が決定するという流れになります。事務局からは以上です。

(会 長) B委員、D委員、F委員、私が今期で退任となります。お1人ずつご挨拶をお願いします。

(B委員) 4年間、皆さんとご一緒できて本当に幸せでした。今日もリニューアルオープンしたばかりの砂川学習館を見学させていただき、ちょっと得をした気分です。本当にこの4年間私のためにもなりましたし、今まで立川市からいただいた恩返しができればと一生懸命活動させていただきました。これからも皆様のご活躍を心から祈念しておりますし、私自身も市民ですので、どこかでお世話になりながら何かお役に立てることがございましたらお声かけいただけますとありがたいなと思っております。本当にありがとうございました。

(D委員) 私は6年間お世話になりました。思い返してみると平成16年の第3次生涯学習推進計画のときからいろいろな発信をさせていただいて、今市民公募の委員として、6年間みなさんと一緒に活動させていただきました。私が関わった当時からずっと課題としてあがっていた市民リーダーさんの登録の件が、いよいよ第7次計画で実施をされると確信しております。私自身が命のある限り、生涯学習に取り組んでいきたいと思っております。この審議会の益々のご発展と委員の皆さまの益々のご健勝を心からお祈り申し上げます。長い間お世話になりました。ありがとうございました。

(F委員) 私は3年間と短い間でしたが、皆さまのお話を聞かせていただくことを楽しみにしておりました。あまり力になれず申し訳なかったなという気持ちではありますが、東京都にいるとなかなか地域の方と直接関わる機会がないので、この場所がすごく新鮮で、今こういうことが起きているのかとわかるとても良い機会でした。これからも職場である新宿と隣の昭島市から、立川がすごく身近になったのでいろいろな勉強会もできれば参加してみたいなと思っております。また、どこかでお会いしましたら声をかけていただければと思います。ありがとうございました。

ございました。

(会 長) 私も 4 期ほど務めさせていただき、この度退任させていただくことになりました。まだ錦学習館の方には、学生共々顔を出していくと思いますし、大学としてはいろいろ関わりがありますので、またどこかでお会いするかも知れませんが、そのときはまた違う立場で優しく楽しく接していただければなと思います。卒業生が砂川学習館で働いているので、さっき話したんですが、立川でいろいろな実習や体験をさせていただいたことをきっかけに立川で働くという循環ができたのは、私達にとっても嬉しいことです。若者の学びや成長と大人たちの学びや成長がクロスするというのは、嬉しいことだなと思います。学芸大は立川市の学校ではないのに学生たちがいろいろな形で出入りさせていただいてるというのは、それだけ受け止めていただいて、学びの環境として素晴らしいということだと思います。いろいろな形で関わらせていただき、私自身もたくさん学ばせていただきました。皆さんには本当感謝しております。ありがとうございました。継続される委員の皆さまは、引き続き頑張ってくださいと思います。

他に何かございますでしょうか。(なし)

次回の審議会は、4月下旬となっております。それでは第7回生涯学習推進審議会を開会します。本日はありがとうございました。